

高校通級の問題はどの学校にもあてはまる

教文会議 特別支援教育を考える総合研究会
第2回総合研究会

特別なニーズに 対応できる組織づくり 通級指導の目的その先 障害者権利条約

どうしたら、
うまくいく？

高校特別支援教育

2023.6.24 SAT

13:00～15:30

オンライン (zoom) 開催

講演 岡 耕平さん

(滋慶医療科学大学大学院 准教授)

国で問われるテーマ「どうしたらうまくいく？高校特別支援教育」 連告日本と世界のズレ 苦戦する高校での ICT

高校通級が成功する仕組みを有する組織の条件

長野県の特別支援教育の特徴をどう捉えるべきか、
障害者権利条約がある時代にふさわしい教育、
障害のある子どもたちの権利としての教育は
どうあるべきか。現状の学びの場を
捉えなおします。

日本の「インクルーシブ教育システム」は特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、通常学級という連続性のある多様な学びの場として位置づいています。高校もその流れに含まれていることは認識されているでしょうか。

「障害なのか、性格なのか」という不毛な議論

昨年に引き続き
第2弾

誰を

支援の対象とするのか

合理的配慮の中のテクノロジー利用

講演 「どうしたらうまくいく？高校特別支援教育」

岡 耕平さん

(滋慶医療科学大学大学院准教授)

報告1 特別支援教育をめぐる情勢

太壽堂雄介さん

(全国障害者問題研究会長野支部事務局長)

報告2 長野県の高校の実態報告

宮澤まどかさん 北原恵美さん

(「多様な学び、生徒理解と発達」研究会)

引き続き、岡耕平さんをお迎えします。

特別なニーズに対応できる組織づくり」に

昨年6月の特別支援を考える総合研究会
『「高校通級」をフル活用して

特別支援教育を考える総合研究会

どなたでも参加できます。詳細・申込みは、教文会議 HP から。

※申込み期間 6月1日～22日(厳守)

長野県教文会議

<https://kyobun-kaigi.org>

長野県長野市県町 593

TEL 026-234-2216

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

